

たいよう

令和7年度版
(令和8年3月発行)

令和7年度の青少年育成県民会議の取組

山口県青少年育成県民会議は、青少年の健全な育成をめざす県民運動の推進母体として、昭和41年9月に発足した民間団体です。すべての県民が心身ともに健全な青少年を育成する責務を有するとともに、青少年もまた次代を担うものとしての誇りと使命を自覚し、若い力を自ら向上させることに努めるよう、県民会議は、「家庭・学校・地域」において、関係団体はもとより、県民各層の人々と相たずさえ、広く県民の総意を結集して青少年育成県民運動を推進しています。

【青少年の健全育成を推進するため次のような事業を展開しています】

拡 「家庭の日」の普及啓発と「体験活動」の理解促進

全ての子ども・若者が、自分らしく生き、夢と希望を持って未来を切り拓いていけるよう、「家庭の日」の普及啓発や「体験活動」の理解促進に取り組んでいます。

「家庭の日」って何？

家庭は、子どもたちが社会性の基本を身に付け、心安らげる大切な場所です。家族が意識して、ゆっくりと話し合う機会を持ち、ふれあいを大切にする工夫が必要であることから、毎月第三日曜日を中心とした「家庭の日」を提唱しています。

「体験活動」って何？

体験活動は、五感を通して、実際に物事や人、社会とふれあい、経験することで、学びや成長を促す活動です。豊かな人間性、自ら学び、自ら考える力などの生きる力の基盤、子どもの成長の糧としての役割が期待されています。



新小学1年生全員にお配りしている「家庭の日」・「体験活動」促進用クリアファイル

機関紙「たいよう」による広報活動

年に1回3月に発行しています。小・中・高校や公民館、「家庭の日」協力事業所、個人及び団体会員の皆様にお届けします。



「青少年育成県民のつどい」の開催

令和7年8月23日(土)12:00～
山口県教育会館(ホール)山口市大手町2-18



★少年の主張コンクール 山口県大会

県内中学生を対象に作文を募集し、作文審査により選考された優秀者上位8名による「少年の主張山口県大会」を開催しました。

新 こどもまんなか育成支援活動 プラットフォーム形成事業による取組

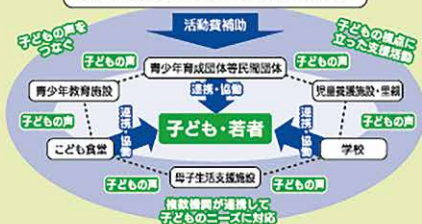
全ての子ども・若者が安全で安心して過ごせる居場所を持ちながら、幸せに心豊かに成長していけるよう、教育や福祉などの子育て支援機関による連携基盤を形成し、子ども一人ひとりのニーズに対応した多様な体験機会を創出します。

子育て機関が一丸となって全ての子どもに体験機会を

- ・子育て支援機関による連携プラットフォームの形成
- ・困難を有する子ども・若者など全ての子どもたちへの多様な体験機会の提供に向けた取組支援
- ・支援活動事例集の作成、理解促進セミナーの開催

山口県青少年育成県民会議

【取組】 情報交換・協議検討・取組支援・理解促進



新 こどもまんなか育成支援活動

講演会 すべての子ども・若者に
体験機会の提供を



講師：今井 悠介 氏
公益社団法人チャンス・フォー・チルドレン
代表理事

体験格差の解消に向けて全国展開をされておられる、今井先生に御講演いただきました。

★青少年活動に功労のあった方々の表彰

長年にわたり青少年の育成・指導や、奉仕活動を通じて地域社会に貢献した個人や団体を表彰しました。



編集発行：山口県青少年育成県民会議（山口県子ども家庭課青少年・家庭福祉班内）

山口市滝町1-1 TEL 083-933-2634 FAX 083-933-2799

少年の主張コンクール山口県大会 結果

8月23日(土)に山口市の県教育会館で開催した『青少年育成県民のつどい』において、第47回目となる「少年の主張コンクール山口県大会」を併催しました。

今回のコンクールには、県内13校から584点の作文の応募があり、1次・2次審査による原稿審査を経て選ばれた8名の中学生が、力強く自分の思いを発表し、御来場いただいた多くの人の心を動かしました。

●結果一覧

賞名	学校名	学年	氏名	題名
最優秀 (県知事賞)	山口県立 高森みどり中学校	3年	すだ せいじ 須田 青慈	「食」と向き合う
優秀 (県教育長賞)	周南市立 富田中学校	3年	たなべ ゆい 田邊 優衣	私だから伝えられること
優秀 (県民会議会長賞)	下松市立 久保中学校	3年	みうら じんた 三浦 仁太	言葉の強さ
優良 (※発表順)	萩市立 萩東中学校	2年	おおまつ りんや 大松 凜也	家族と地域の温かさ
	下松市立 久保中学校	3年	おかむら みさき 岡村 美咲	この一瞬にすべてを込めて
	周南市立 桜田中学校	1年	たかまつ のあん 高松 希杏	「今」の私ができるまで…
	山口県立 高森みどり中学校	3年	きたおく ももか 北奥 桃嘉	挑戦
	周南市立 太華中学校	2年	ふなこし きらり 船越 煌莉	小さな行動がつくる未来

8名の発表後、村岡知事から発表者に対し、「みなさんの発表はわかりやすく我々も聞きながら、一緒に悩んだり、胸が締め付けられたり、胸が熱くなったりということと一緒に感じさせてもらいました。みなさんがこれから生きていく社会、そして、生きていくみなさんが今考えている挑戦などに向かって大いに成長されることを願っています。」とエールが送られました。

●村岡知事から発表者へのエール



●表彰風景



令和7年度少年の主張コンクール山口県大会の様子については、以下のURL、2次元コードよりYouTubeで御覧いただけます。

【URL】 <https://www.youtube.com/watch?v=gLPvWvj-8IA>

【2次元コード】



「食」と向き合う 山口県立高森みどり中学校 3年 須田 青慈



人は、生まれて間もない頃の記憶をもっていない。しかし、そんな時期に、僕には人生を変えるような出来事があった。千葉県松戸市で過ごしていた生後5カ月のことだ。ある日を境に、水から有害物質が検出されたり、放射性物質を含む野菜が、出荷停止になったりした。そう、その出来事とは、東日本大震災、福島第一原発事故のことである。

会社員だった父も、都会に慣れていて母も、安心して子育てをするため、山口県の山間地域への移住を決めた。そこは人口500人、近所の人と採れた野菜を渡し合う温かい場所だった。それからだと言う。父と母が「食」に気を遣い始めたのは。父は一から農業を学び、農家を始めた。母も、父を手伝うようになった。東日本大震災で、僕達家族の人生は、180度変わったのである。

人は、食べ物抜きには生きていけない。ただ、僕達は、食べ物は当たり前のように毎日手に入るものだと信じている。実際そんな簡単なものではない。一食一食に大勢の人達が関わっていて、何かあると、今までそこにあった一食は、もうないのである。こんな体験をした僕だからこそ、「食」に関して考えたことがある。

まず一つめは、農業の大切さである。父は、雨の日や暑い夏でも、毎日畑で作業している。その姿は、本当に大変そうだ。しかし、農業は人の「生命(いのち)」を育む大切な仕事だと思う。日本の食料自給率は低く、多くを輸入に頼っている。世界の人口が増え続け、気候変動が進行する中、今までどおり食料を輸入することができるのか。それは難しくなってくるだろう。これから農業をもっと活性化し、少しでも多くの食料を自国でまかなえるようにしなければならない。しかし、現実には生産者の年齢層は高く、跡つぎがないという声を耳にする。僕は、幼い頃から野菜が育つを見てきた。自分で植えた苗の成長は、とてもうれしいものだった。そこで、子ども達や若者が、農業を体験する機会をもっと増やしてはどうだろうか。食べ物を生産する難しさや喜びを身をもって知るだけでも、農業の大切さに気づくきっかけになる。そして、生産者への感謝や応援したいという気持ちが、地産地消の促進につながるのではないだろうか。

一方で、食品ロスの問題もある。日本では大量の食品が、毎日廃棄されている。給食でも、注ぎきれずに余ってしまうことがある。そんなとき、僕はおかわりをして、食缶を必ず空にする。父や近所の方の一生懸命な姿を思うと、無駄にはできないからだ。先ほどの「農業体験」は食品ロスの削減にも役立つと思う。外国では、紛争や貧困などで、一日一食さえ満足に食べられない人も大勢いる。食品ロスの問題を考えることは、世界中の人々の幸せを考えることでもある。

そして、もう一つは、「食」を通じての団らんの大切さである。現代の食事は、短時間で済むようになった。ほとんどの家が共働きで、みんな忙しい。だからこそ、晩ご飯のひととき、「食」を楽しむ時間が必要なのではないかと思う。食べながら、生産者の苦労や遠い国の人々に思いをはせること、それだけでも「食」をめぐる問題の解決に向けて、小さな一歩になるのではないだろうか。

14年前の出来事がなかったら、僕は「食」についてこんなに関心をもたず、食べ物は当たり前のように手に入るものだと考えていただろう。でも今は、「食」が手に入るまでの苦労やありがたさを知っている。そして、これからの「食」は、僕達若者が守っていかなければならないと気づくことができた。未来の僕達、生まれてくる子ども達、世界中の人達のために、僕達は、「食」と向き合うべきだ。大きな行動でなくても、小さなみんなの「関心」は、生産者、農業の支えとなる。そうすれば、「今ここにある食卓」だけでなく、「未来のどこの食卓」にも新鮮な食材と笑顔があふれていると信じている。

こどもまんなか育成支援活動講演会

子どもたちへの体験機会の提供について理解を深め、課題解決に向けて社会全体で共に考えていくため、8月23日(土)に開催した『青少年育成県民のつどい』の中で、こどもまんなか育成支援活動講演会を開催しました。

タイトル：「すべての子ども・若者に体験機会の提供を」

講師：今井 悠介 氏

(公益社団法人チャンス・フォー・チルドレン代表理事)



【子どもの体験格差の現状】

- ・低所得世帯の約3人に1人が、直近1年間、学校外の体験が「何もない」
 - ・親自身が子ども時代に「体験ゼロ」の場合、その子どもの約2人に1人が「体験ゼロ」
- 出典：チャンス・フォー・チルドレン「子どもの『体験格差』実態調査」(2022年)

体験機会の剥奪は子どもから何を奪うか？

◇ 子どもの成長の機会

- 五感⇒感情⇒思考＝経験・学び
- 余白、遊び⇒自分で考える、決める
- 色んな「自分」と出会う
- 多様な知性、感性を伸ばす

◇ 想像力の幅・選択肢を広げる機会（支援者の言葉）

- ・子どもたちにとって初めての旅行だが、北海道の現地に着いても、沖縄の地元にあるようなアニメショップ等、普段の生活と全く同じことをやりたがる。様々な体験をしたことがなく、北海道に来たらやってみたくらいが思い浮かばない。

◇ 人や地域とつながる機会

- ・虐待やネグレクトなど、子ども時代の逆境的体験が将来の健康や社会経済的機会に負の影響を与える。18歳までのポジティブな体験、保護的体験が、逆境体験の負の影響を緩衝し、ウェルビーイングにつながる。

大切にしたいこと

- ①子どもの意思、「やってみたくらい」という気持ちを中心に考える
 - 体験保障を「子どもの権利」として捉える
 - 親の「消費活動」にしない、過度な競争にさらさない
- ②体験を通じて、子どもを見守る大人の存在
 - 体験を通じて沸き起こる感情を大切に→気づき、学び、感情の共有をする

体験格差をなくすために必要なこと

- ①体験格差の実態調査を継続的に実施する
- ②体験の費用を子どもに補助する
- ③体験と子どもをつなぐ支援を広げる
- ④体験で守るべき共通の指針を示す
- ⑤体験の場となる公共施設を維持し活用する

チャンス・フォー・チルドレンのMission

多様な学びをすべての子どもに
～経済状況や一人ひとりの特性に関わらず子どもたちを多様な学びの機会によって包摂できる社会～

大切にしていること (Value)

- ①子どもの教育格差をなくす (平等)
- ②子どもの自由な意思決定を支える (自由)
- ③子どもの多様性に応える環境をつくる (包摂)

青少年活動に功労のあった方々の表彰

8月23日(土)に山口市の県教育会館で開催した『青少年育成県民のつどい』において、長年にわたり青少年の育成・指導や奉仕活動などを通じて地域社会に貢献され顕著な功績が認められた以下の方々が、表彰を受けられました。

令和7年度「山口県青少年育成県民会議会長表彰」

【青少年】……………(11名)

廣野 絢萌 さん (下関市)	野花 みひろ さん (萩市)
青木 友里乃 さん (防府市)	藤井 めぐ美 さん (防府市)
上田 晴子 さん (長門市)	
古川 陽菜乃 さん (美祢市)	
大山 桃果 さん (周南市)	
辻 仁美 さん (周南市)	
吉村 晴菜 さん (周南市)	
西本 凜音 さん (田布施町)	
彌富 若奈 さん (田布施町)	



【青少年団体】……………(1団体)



周南市ジュニアリーダーズクラブ (周南市)

【青少年指導者】……………(9名)

小野村 寛 さん (萩市)	丸田 勸次 さん (萩市)
齊藤 清子 さん (防府市)	藤松 勝 さん (防府市)
藤江 旬仁 さん (下松市)	松山 藤子 さん (岩国市)
山本 真弓 さん (岩国市)	若林 邦江 さん (岩国市)
齊郷 孝 さん (柳井市)	



令和7年度「全国青少年育成県民会議連合会会長表彰」

【青少年指導者等顕彰】……………(2名)



河杉 憲二 さん (防府市)
俵 薫 さん (美祢市)

令和8年度小学1年生向けクリアファイル

山口県青少年育成県民会議では、県と協働して、全ての子ども・若者が、自分らしく生き、夢と希望を持って未来を切り拓いていけるよう、「家庭の日」の普及啓発や「体験活動」の理解促進に取り組んでいます。

今年度は、令和8年度に入学される県内の小学1年生全員（258校、約9千人）を対象に、「家庭の日」と「体験活動」を促進するためのクリアファイルを作成し、小学校を通じて配付しました（一部、令和8年4月に配付）。

このうち、90校の小学校には、地元の青少年育成市町民会議の役員等が仮入学や入学式に訪問し、子どもや保護者等に「家庭の日」や「体験活動」の大切さをお伝えし、クリアファイルを直接お渡しさせていただきました（R8.1.22～R8.2.25）。

その他の小学校についても、教育委員会を通して、仮入学や入学式での配付をお願いしています。



山口市立仁保小学校の仮入学式でクリアファイルの説明をする山口市青少年健全育成市民会議の木橋会長



御協力くださいました
小学校等の関係者の皆様、誠に
ありがとうございました。



「家庭の日」 協力事業所 Vol. 10 を紹介します



当園では、県民の子育て応援活動の推進を目的に、毎月第3日曜日を「家庭の日」と定め、イベントを開催しています。

当日は、中学生以下の子どもの入園料を無料とするほか、先着100名の子どもに飲食物の購入に使用できる500円分の食事券を配布しています。また、親子で楽しめる遊びの場を設けるなど、花と緑に囲まれた環境の中で、家族がふれあう時間を大切にできる取り組みを行っています。

これらの活動を通じて、妊娠・出産・育児に関する悩みや不安、日々のストレスの軽減を図り、子育て世代の支援につなげています。



山口県青少年育成県民会議は、賛助会員を募集しています

未来を担う青少年の健やかな成長を願い活動を展開しています。
皆様方の御支援・御協力をお願いします。

【年会費】 個人 1口／1,000円
団体 1口／5,000円

【振込先】 山口県青少年育成県民会議
山口銀行 県庁内支店 普通 36906
西京銀行 県庁支店 普通 0086742

～お問い合わせは～

山口県青少年育成県民会議事務局

〒753-8501 山口市滝町1-1

山口県こども家庭課青少年・家庭福祉班内

TEL 083-933-2634

FAX 083-933-2759

Mail: kenminkaigi@pref.yamaguchi.lg.jp

令和7年度は個人134人、企業・団体43社（団体）の方に御協力いただきました（R8.1月末現在）。

子どもたちがまんなかにあるみらいに向けて

～こどもまんなか育成支援活動プラットフォーム形成事業の取組状況～

少子化が急速に進行し、子育てを取り巻く環境が大きく変化する中、全ての子ども・若者が、夢と希望を持って、幸せに、そして心豊かに成長するには、「社会全体で子どもたちを温かく支える環境をつくっていくこと」が必要です。

また、必要とする全ての子どもたちに支援を繋げるためには、官民間わずさまざまな支援機関が連携し、「こどもまんなか」の視点に立った取組により、子どもや子育て世帯のウェルビーイングの向上を図っていくことが大切です。

このため、山口県では、令和7年3月に「やまぐち子ども・子育て応援プラン」を策定し、山口県青少年育成県民会議において、**子どもたちと必要な支援をつなげるため**、「こどもまんなか支援活動推進会議」を立ち上げ、情報交換や協議を行うとともに、各地域の支援機関が協働し、子どもの主体性を発揮できる多様な体験機会の創出に取り組んでいます。

① 支援機関による連携プラットフォームの形成に向けた会議の設置

地域における子育て支援機関や民間団体の連携基盤の形成に向けて、県や民間団体等で構成する「こどもまんなか支援活動推進会議」を立ち上げ、子どもたちと必要な支援を繋げるための活動に向けた情報交換や協議を実施しました。



② 全ての子どもたちへの多様な体験機会の創出

各地域で、連携基盤を形成した複数の支援機関が協働して、子どもの主体性を発揮できる多様な体験機会の創出に取り組みました。（P9 一覧参照）

③ こどもまんなか育成支援に関する理解促進

◇ 実践事例集の作成及び情報発信

多様な体験機会の創出に関する実践事例集を作成しました（支援活動推進会議とも連携して作成）。今後、広く情報発信していきます。

◇ 社会全体で取組を進めていくための理解促進講演会の開催

子どもたちへの体験機会の提供について理解を深め、課題解決に向けて共に考えていくための理解促進講演会を開催しました。（P4）

◇ 令和8年度入学の小学1年生に向けた「家庭の日」と「体験活動」促進用クリアファイルの配付

「家庭の日」と「体験活動」の促進用クリアファイルを作成し、県内の小学校に令和8年度から入学される全児童に配付しました。（P6）

令和7年度子どもまんなか育成支援活動プラットフォーム形成事業

今年度は9団体が、支援機関による連携の基盤を形成し、多様な体験機会の創出に取り組みました。

申請団体名	事業内容
宇部市地区ふれあい運動推進員会連絡協議会 (宇部市)	不登校等困難に直面する子ども・若者などへの多様な体験の提供に向けて、横のつながりを目的に、教育委員会や警察などの関係機関とのネットワークを形成 ◎災害時を想定した調理等の自助・共助体験活動(with 市水道局) ◎誰もが参加できるみんなのためのeスポーツ大会
山口市青少年健全育成市民会議 (山口市)	子どもや地域の大人の声を聴く場を創出し、子どもの体験活動に併せて地域の課題解決に取り組むことで持続可能な地域づくりを進めるためのプラットフォームを形成 ◎子どもの意見と地域資源(徳地地域)を活用し、地域課題の解消に資する体験機会を創出
認定NPO法人山口せわやきネットワーク (萩市)	不登校、ひきこもりなど様々な困難に直面する子ども・若者への体験活動の提供に向けて、「居場所づくり」に取り組む団体を中心に、横のつながりを目的とした協議会を立ち上げ(支援の目線合わせ、継続的な連携) ◎料理教室、フルーツ狩り、宿泊体験、週1回ペースで居場所の開放
佐波地域青少年育成連絡協議会 (防府市)	地元の課題解決に取り組む体験活動により、子どもたちと接している支援元から、子どものニーズを聴きとり、子どもたちが安心して過ごせる居場所づくりを目指すとともに、地域基盤の構築を図る ◎連携した体験活動に向けて、学校や関係団体による「情報交換会議」を開催 ◎清掃活動、危険箇所マップづくり、読み聞かせやおやつづくり、高齢者との交流
華浦地区青少年育成連絡協議会 (防府市)	様々な関係機関・団体と顔の見える横のつながりを深め、連携基盤を形成 関係機関等から子どもたちの体験欲求等を聴きとり、不登校やひきこもりなどの子どもたちを含めた子どもたちへの体験機会の提供 ◎盲目のバイオリニスト 白井 崇陽 コンサートイベント開催
光市青少年健全育成市民会議 (光市)	故郷の歴史や文化など郷土愛を育む体験機会の創出に向けて、関係機関による情報交換や協議を行うと共に、タブレットや11地区会議を通じて子どもの声を聴く ◎歴史と地域を学ぶフィールドワークツアー ◎英語のみで過ごすサバイバルキャンプ
長門市青少年育成市民会議 (長門市)	「子どもの体験活動への参加」「支援者の横のつながり」「子どもの主体性を尊重した体験活動」を課題とした連絡協議会の立ち上げ 子どもたちが自ら組み立てることにより、自己有用感を感じられる体験となるよう工夫した体験活動の創出 ◎稲刈り体験、学習支援、生け花体験、チョコレートづくり
周南市青少年育成市民会議 (周南市)	多くの子どもたちが多様な体験活動に参加できるよう関係機関において情報交換や協議を行うとともに、困難に直面する子どもたちの声を聴く ◎学校において、朝ごはんの提供や様々な団体による体験機会を提供 ◎困難に直面する子どもなどの声を踏まえ、体験活動の参加に向けた方策を検討
周防大島町青少年育成町民会議 (周防大島町)	関係機関の連携基盤の構築に向けて町民会議を母体に情報交換・協議検討を実施 ◎地家室園地等施設見学、磯遊び、サップ ◎清掃活動、藻場再生活動体験 ◎起業体験講話、商品開発や販売体験等



周南市青少年育成市民会議 (周南市)
「子どもたちへの多様な体験機会の提供に向けた協議」



認定NPO法人山口せわやきネットワーク (萩市)
「萩市セミナーハウス宿泊体験 (ピザ作り)」

●●● 令和7年度青少年育成地域づくり支援事業 ●●●

今年度は36の団体で青少年育成地域づくり事業に取り組んでいただきました。

申請団体名	対象事業の名称	事業内容
菊川町青少年育成町民会議	青少年地域イベント社会参加体験活動推進事業	菊川町ふれあいコンサート
豊浦町青少年育成町民会議	豊かな心を育てる町づくり「私の主張」発表大会	作文募集、選考会、発表大会、作文集作成
楠ライオンズクラブ(宇部市)	子ども見守り活動支援事業	「子ども110番の家」のぼり旗の作成
山口市青少年健全育成市民会議山口支部	青少年健全育成活動 普及啓発事業	啓発広報誌の作成、配付
おごおりウィークエンドアドベンチャー実行委員会(山口市)	おごおりウィークエンドアドベンチャー(スキー教室)	山口県スキー連盟小郡シーハイル講師によるスキー指導
山口市青少年健全育成市民会議秋穂支部	地域活動の充実と推進体制の整備充実	まちづくり標語の募集→優秀作品の看板作成
山口市青少年健全育成市民会議阿知須支部	地域のふれあい・見守り活動	「あじすまもり隊」による地域みまもり活動
山口市青少年健全育成市民会議阿東支部	阿東支部青少年育成地域づくり支援事業	広報誌発行、講演会開催、伝統行事への参加
萩地域青少年育成市民会議	萩市青少年健全育成推進事業	「子ども110番」プレート・のぼり・ステッカー作成
萩市青少年育成市民会議川上支部	阿武川下りに挑戦!!	カヌーで阿武川下り
須佐地域青少年育成市民会議	心豊かな「須佐地域っ子」育成事業	親子で楽しめる映画の上映会
鮎のつかみどり実行委員会(萩市)	鮎のつかみどり大会	明木農業文化祭で鮎のつかみどり大会を開催
福栄地域子ども会育成連絡協議会(萩市)	福栄地域子ども会野外活動	親子で楽しむ自然体験
防府市青少年育成市民会議	「家庭の日」運動推進事業	「家庭の日」ポスター、チラシ、のぼり旗作成等
下松市青少年育成協議会	「家庭の日」推進事業	親子和太鼓体験教室
光市青少年健全育成市民会議室積地区会議	みたらいいハロウィン仮装スタンプラリー	仮装を行い、スタンプラリーに参加
やまと学園地域協育ネット ロードレース大会実行委員会(光市)	やまと学園ロードレース大会	大和地域の小・中学生を対象としたロードレース大会を開催
長門市青少年育成市民会議	地域づくり支援事業	グリーンウォーク・安心安全パトロール・天体観察等
長門市青少年育成市民会議三隅支部	みすみ青少年健全育成活動	絵画コンクール、講演会、防犯パトロール等
長門市青少年育成市民会議日置支部	「家庭の日」運動推進事業 青少年の健全育成に関する事業	コミュニティカレンダー・絵手紙・トートバック・似顔絵作成、プレゼント
長門市青少年育成市民会議油谷支部	地域住民と青少年のための講演会	NHK山口放送局長野アナウンサーの講演会
いほのしょう春まつり実行委員会(柳井市)	子どもたちと地域とのふれあい春まつり事業	スケッチ大会・輪投げ・子牛とのふれあい等
美東町青少年育成市民会議	「明るい家庭づくり」推進啓発事業	標語募集→審査→表彰→看板作成
周南市青少年育成市民会議徳山部会	周南市青少年育成市民会議活動紹介事業	「こども新聞」にKo33(こみみ)ページ掲載ほか
周南市青少年育成市民会議新南陽部会	周南市青少年育成市民会議新南陽部会活動	新南陽高校 JRC 部が企画するゆめクラブほか
周南市青少年育成市民会議熊毛部会	周南こどもゆめまつり体験活動	周南こどもゆめまつりでの企画・運営、出店等
周南市青少年育成市民会議鹿野部会	青少年健全育成カレンダー作成事業	毎月、「家庭の日・道徳の日」実践目標等掲載
山陽小野田市青少年育成協議会	山陽小野田市青少年健全育成事業(小野田)	夏休み親子木工教室(マガジンラック)
山陽小野田市青少年育成協議会	山陽小野田市青少年健全育成事業(山陽)	夏休み親子木工教室・「遊びの城」厚陽(三門松)
周防大島町久賀地区青少年育成町民会議	周防大島町久賀地区青少年健全育成運動	家族の絆標語の募集→ポスター・クリアファイル作成
周防大島町大島地区青少年育成町民会議	周防大島町大島地区青少年健全育成運動	家族の絆標語の募集→ポスター・クリアファイル作成
周防大島町東和地区青少年育成町民会議	周防大島町東和地区青少年健全育成運動	家族の絆標語の募集→ポスター・クリアファイル作成
周防大島町橘地区青少年育成町民会議	周防大島町橘地区青少年健全育成運動	家族の絆標語の募集→ポスター・クリアファイル作成
上関町青少年健全育成町民会議	ワクワク、ドキドキ上関っ子	祝島いそそび体験、釣り大会等
田布施町青少年健全育成町民会議	「家庭の日」運動推進事業	広報誌「町民会議だより」の発行
平生町青少年育成町民会議	青少年育成町民会議機関紙「こやらい」45号発行	町民会議機関紙の発行



菊川町青少年育成町民会議(下関市)「菊川町ふれあいコンサート」



鮎のつかみどり実行委員会(萩市)「鮎のつかみどり大会」